

ロンドン、2019年2月21日

## ロシアのセヴェルスターリ社チェレポヴェツ製鉄所向け レードル炉を納入

- ツインレードル炉の溶鋼処理能力は年間 480 万トン
- レベル 2 プロセスモデルにより高度なオートメーションを実現
- 転炉工場の年産能力は約 1030 万トンに増加
- 溶鋼処理を集約し、運転コストを大幅に低減

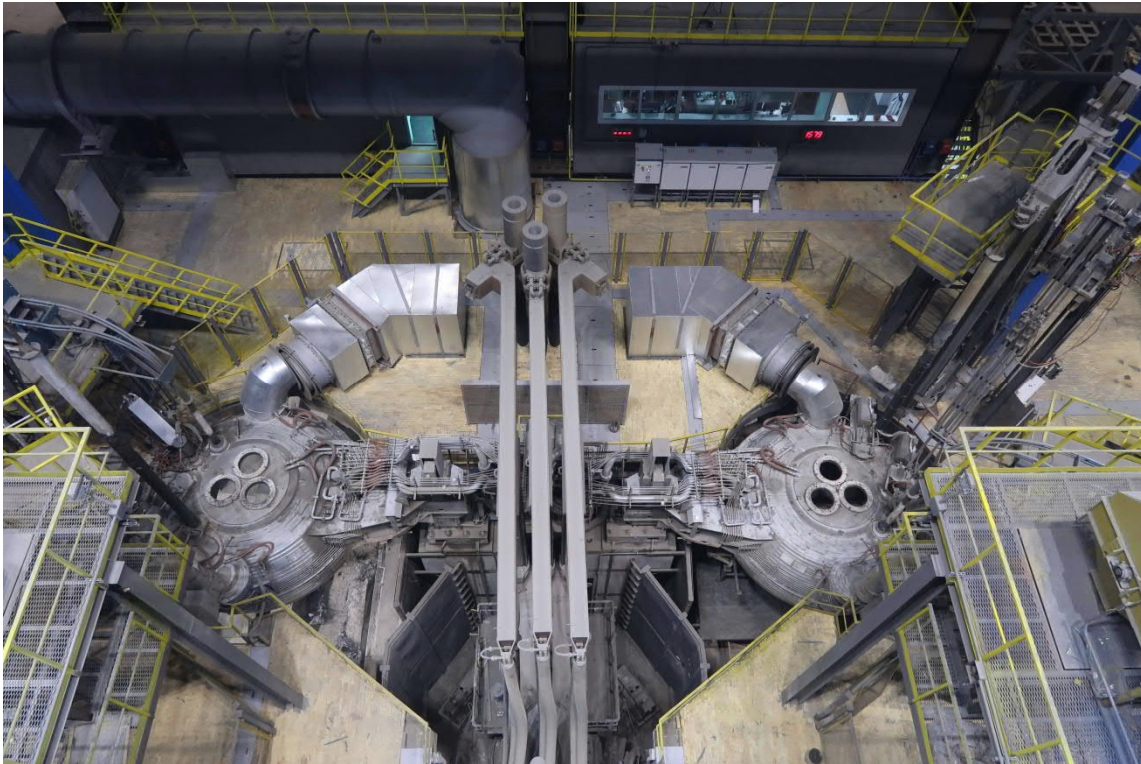
プライメタルズテクノロジーズ（Primetals Technologies）は、ロシアの鉄鋼メーカーである PAO セヴェルスターリ社（PAO Severstal：セヴェルスターリ社）チェレポヴェツ製鉄所の転炉製鋼工場向けに新しいツインレードル炉を納入し、その最終検収書を受領しました。このレードル炉は 375 トンの溶鋼を 45 分以内で処理することが可能で、溶鋼処理能力は年間 480 万トンに上ります。このレードル炉の増設により、同工場の最大年産能力は以前の 950 万トンから約 1030 万トンに増強され、また、すべての溶鋼処理を工場の 1 箇所に集約できるようになり、年間約 1000 万ユーロの操業コスト低減につながります。

ロシアのヴォログダ地方に位置するチェレポヴェツ製鉄所は、セヴェルスターリ社のセヴェルスターリ・ロシアン・スチール部門の一部で、世界最大の一貫製鉄・製鋼工場として、2017 年には粗鋼の年間生産量約 1165 万トンを達成しました。生産された粗鋼は、熱延・冷延鋼板、亜鉛めっきおよびその他のめっき製品、条鋼製品など、多岐にわたる最終製品の製造に使用されます。チェレポヴェツ転炉工場には 350 トンの生産能力を有する転炉が 3 基ありますが、これまで、溶鋼の 2 次精練が可能なレードル炉は、過去に当社が納入したレードル炉 1 基のみでした。

今回のプロジェクトで、当社は、ツインレードル炉、合金システム、除塵システムのエンジニアリングと、関連電気設備やオートメーション設備を含む主要機器の納入を担当しました。設置されたレベル 2 システムは同製鉄所のシステムにシームレスに統合されており、予め計算されたプロセスモデルを使用

することにより高度なオートメーションが可能になります。当社は、据付と試運転を監督したほか、スタッフ向けの研修も実施しました。

セヴェルスターリ社は技術資料の作成と建設作業を担当し、この生産能力拡大プロジェクトに約 4300 万ユーロを投資しました。セヴェルスターリ社と当社は長年にわたり密接な協力関係を築いています。



ロシアにあるセヴェルスターリ社のチェレポヴェツ製鉄所向けに納入されたプライメタルズテクノロジーズ製ツインレードル炉。

他言語（英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語）による（プレスリリース及び資料は、以下の URL よりご覧になれます。 [www.primetals.com/press/](http://www.primetals.com/press/)

#### 報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室（広報担当：山下）  
〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業（株）広島製作所内  
電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ 公式ツイッター: [twitter.com/primetals](https://twitter.com/primetals)

**プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies, Limited)**は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業における、エンジニアリング及びプラント建設全般の世界的リーダーかつライフサイクル・パートナーです。当社は電機、オートメーション及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、鉄鋼のあらゆる分野を網羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は、株式会社日立製作所ならびに株式会社 IHI が資本参加している三菱日立製鉄機械と、シーメンス・グループのシーメンス VAI メタルズテクノロジーズ社の統合により発足した三菱重工のグループ会社です。出資比率は三菱日立製鉄機械が 51%、シーメンスが 49%です。従業員数は全世界で約 7,000 人。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト : [www.primetals.com](http://www.primetals.com)